

特別公開「雛と雛道具」展示リスト

NO.	名称	数量	年代	所蔵
弥千代の雛と婚礼調度				
1	やちよ ひな 弥千代の雛	1対	江戸時代後期	本館蔵(井伊家伝来資料)
2	やちよ ひなどうぐ 弥千代の雛道具	85件	江戸時代後期	本館蔵(井伊家伝来資料)
3	やちよ かご 弥千代の駕籠	1棹	江戸時代後期	本館蔵(井伊家伝来資料)
旧家の雛				
4	ひなだんかざ 雛段飾り	1揃	昭和時代前期	本館蔵(加納基弘氏寄贈)
5	こきんびな 古今雛	1対	江戸時代末期	本館蔵(高崎正之氏寄贈)
6	こきんびな 古今雛	1対	江戸時代末期	本館蔵(森嶋美代子氏寄贈)
7	こきんびな 古今雛	1対	明治～大正時代	本館蔵(清水隆子氏寄贈)
8	ひなごてんかざ 雛御殿飾り	1揃	昭和時代前期	本館蔵(青柳和子氏寄贈)
9	ひなごてんかざ 雛御殿飾り	1揃	明治33年(1900年)	本館蔵(山本高嗣氏寄贈)
10	ひなごてんかざ 雛御殿飾り	1揃	昭和時代前期	本館蔵(山田米子氏寄贈)
11	みつおりにんぎょう 三折人形	2躯	江戸時代後期	個人蔵
12	まめびな(つきたり ひなどうぐ) 豆雛(附 雛道具)	1揃	江戸時代末期	個人蔵
13	まめにんぎょう 豆人形	1揃	大正～昭和時代	本館蔵(山田米子氏寄贈)

写真解説

1 弥千代の雛 一对 (作品リストNO.1)

男雛 高 30.6cm 女雛 高 24.7cm

江戸時代

本館蔵 (井伊家伝来資料)

雛段などに立てかけて飾る立雛という種類の雛です。衣装は紙製で、室町時代頃の形式の装束となっており、男雛は小袖と袴を着け、女雛は小袖に細帯を締めています。まるで団子に目鼻をつけたかのような顔は、次郎左衛門雛という雛の形式に則ったもの。あどけない顔立ちが愛らしい一对です。



2 弥千代の雛道具 (写真はその一部) (作品リストNO.2)

江戸時代

本館蔵(井伊家伝来資料)

貝桶や三棚、挟箱など85件からなるミニチュアの調度類。弥千代の婚礼に際し、婚礼調度を模して詠えられました。井伊家の家紋である橘紋と共に、根引きの小松、笹竹、梅枝の様子が描かれ、全体に統一感ある意匠となっています。



弥千代の雛道具のうち 駕籠・長柄傘

駕籠 高 31.5cm

長柄傘 高 45.0cm

弥千代の婚礼調度として伝わる駕籠と長柄傘のミニチュアです。

駕籠は黒漆塗に豪華な金蒔絵が施された女乗物と呼ばれるもので、高貴な女性専用の乗り物です。実物に比べると、横幅が狭いやや縦長の形であり、大きさは約3分の1。随所に銀の飾金具が施され、内側には鮮やかな彩



色で花鳥画が描かれています。

長柄傘は、日よけ、雨よけのために差し掛けるものです。

この展示では、実物の駕籠も展示します。実物と見比べることで、ミニチュアの精巧さをじっくりご覧いただくことができます。

*参考：雛道具の駕籠と婚礼調度の駕籠の大きさの比較（約3分の1の大きさ）



3 弥千代の駕籠 1棹（作品リストNO.3）

縦82.3cm 横112.2cm 高106.5cm

江戸時代後期

本館蔵（井伊家伝来資料）

弥千代の婚礼調度として調えられた駕籠です。黒漆塗に井伊家の家紋の橘紋と、松平家の家紋の葵紋が、松竹梅の模様とともに金蒔絵で表わされています。随所に飾り金具が付けられ、内側には鮮やかな彩色で花鳥画が描かれています。



4 古今雛 一对（作品リストNO.7）

男雛 高45.0cm 女雛 高50.5cm

明治～大正時代

本館蔵（清水隆子氏寄贈資料）

男雛と女雛の一对。公家風の衣装をまとった内裏雛の一種で、江戸時代明和年間（1764～1772）に江戸の人形師原舟月が創始した古今雛と呼ばれるものです。造作は、細部までよく整えられており、目元や口元、髪の毛の生際などを描き出す柔らかな筆遣いは、制作者の確かな技量を感じさせます。

